

デンマークの 農業者と交流

北海道農民楽団

【ロンデ(デンマーク) 西山由佳子】道内の農家らでつくる北海道農民管弦楽団(牧野時夫代表)は14日、デンマークのユトランド

半島中部ロンデ市のカロー有機農業学校で演奏会を行い、学生や地元農家と交流した。

13日のシルケボー市に続くデンマーク公演の一環。カロー有機農業学校(学生約50人)は、酪農学園大系列のとわの森三愛高校(江

別市)と姉妹校提携しており、同高生徒の農業研修を毎年受け入れている。

演奏会では、農業を通じたデンマークと北海道の深いつながりを牧野代表が説明した後、ドボルザークの交響曲第8番、日本とデンマークの民謡などを演奏。約120席の会場には立ち見も出た。



農業学校の学生らとの交流会で、道内の小麦栽培事情を説明する佐藤さん(中央)＝西山由佳子撮影

団員たちは演奏後、農業学校で学び、資格を得ないと農業に就けないデンマーク独特の農業システムの説明を受け、学内の施設を見学。地元農家との交流会にも臨み、470秒の農場を営む農家などの講演を聞いた。また、団員で上川管内下川町で畑作を営む佐藤導謙さん(42)らも道内の農業事情を紹介した。